

## 国際競争力強化プロジェクトを支える 広域幹線道路の整備促進要望について

当地域は、自動車関連工業を中心とした産業の集積により、今や世界経済の中で大変重要な一角を占めています。今後も、当地域が、「モノづくり」などの拠点として、引き続き世界経済をリードしていく役割を十分に果たすためには、産業の国際競争力の一層の強化が不可欠であり、経済のグローバル化に対応した国際物流拠点の形成など、豊かで活力ある地域づくりを官民一体となって進めていく必要があります。

こうした中、名古屋港は、総取扱貨物量が平成14年以降全国第1位であり、コンテナ貨物の取扱量も年々増加し毎年過去最高を更新しており、次世代高規格コンテナターミナル等の整備により今後もさらに増加が見込まれております。また、中部国際空港は開港以来旅客・貨物とも堅調に推移し、今後、早期の完全24時間化に向けた2本目の滑走路が必要と考えております。

これら、今後更なる拡充が期待される国際物流拠点を結び、陸・海・空一体となった総合的な交通ネットワークを構築するためには、広域幹線道路ネットワークの整備は、最も重要な課題であります。急成長するアジア諸国を含む地域間競争の優劣を決めるのはスピードであり、道路整備に10年もかけていては遅いとの指摘もあります。

現在、第二東名高速道路（豊田東ジャンクション以東）は平成26年度、名古屋環状2号線（東部・東南部）は平成22年度を完成目標に、中日本高速道路株式会社により、一層の事業進捗を図っていただいておりますが、この地域の広域幹線道路ネットワークの1日も早い構築に向けて、次の点について格段のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

- 1 **第二東名・新名神高速道路、東海北陸自動車道、近畿自動車道紀勢線、東海環状自動車道、名古屋環状2号線、三遠南信自動車道、中部縦貫自動車道、中部横断自動車道、伊豆縦貫自動車道等の広域幹線道路ネットワークについては、国家的見地から整備促進を図っていただきたい。特に、第二東名高速道路（豊田東ジャンクション以東）、名古屋環状2号線（東部・東南部）については、1日も早く供用を図っていただきたい。**
- 2 **名豊道路・豊橋浜松道路、名古屋高速道路新宝線については、1日も早く供用を図っていただきたい。**
- 3 **名古屋環状2号線（西南部・南部）については、三大都市圏の環状道路の一つに位置づけられており、スーパー中枢港湾プロジェクトが**

進められている名古屋港への広域的なアクセス道路であるため、早期に整備計画区間に格上げするとともに、年内に取りまとめられる道路整備の中期計画に確実に盛り込み、事業着手を図っていただきたい。

- 4 西知多道路については、わが国における国際拠点空港の一つである中部国際空港への広域的なアクセス道路であるため、年内に取りまとめられる道路整備の中期計画に確実に盛り込むとともに、調査を促進し、国において早期に事業着手を図っていただきたい。
- 5 名岐道路、名浜道路、一宮西港道路、衣浦豊田道路等計画路線の着実な進展を図るとともに、名古屋三河道路（第二伊勢湾岸道路）、三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）等候補路線の調査促進を図っていただきたい。
- 6 これらの広域幹線道路ネットワークなど、地方が真に必要としている道路の整備が計画的かつ着実に進められるよう、道路特定財源については、暫定税率による上乘せ分を含め、現行の税率水準を維持することにより、安定的かつ確実な道路整備財源を確保していただきたい。
- 7 高速道路を有効に活用し、地域の交通混雑や沿道環境悪化などの課題解決を図りつつ物流コストを低減するため、高速自動車国道より相当割高である伊勢湾岸道路の通行料金の大幅な値下げや、名古屋環状2号線（東名阪自動車道）と名古屋高速道路等を連続利用する場合における通行料金の割引など、高速道路全般における多様で弾力的な料金施策の実施に積極的に取り組んでいただきたい。

平成19年11月

名古屋商工会議所会頭

岡田 邦彦

社団法人中部経済連合会会長

川口 文夫

中部国際空港株式会社代表取締役社長

稲葉 良暁